



年 組 名前

# 道新でワークシート

## ICT活用 除排雪車両実証実験

# 作業時間、経費削減に期待



市道を除雪する除雪車両。ICTを活用すれば作業時間の短縮や経費の削減が期待される

## 市と開発会社 報告会 端末の機種拡大課題

【富良野】市は24日、情報通信技術（ICT）を活用した除排雪車両の運行管理システム導入に向け、今冬に行った実証実験の報告会を市役所で開いた。システム開発会社「TIS北海道」（札幌）と、ソフトウェア大手「日本オラクル」（東京）の担当者、市職員ら計29人が出席。実証実験の効果や来冬の本格運用に向けた課題を整理した。

（伊勢裕大）

市は同社と連携し、所有する除排雪車両60台のうち、6台に日本版の衛星利用測位システム（GPS）付き携帯端末を搭載した。車両の配置情報や除排雪済

みの場所が外部のクラウド型システムに送信され、市役所内にある都市施設課の端末で地図上のデータとして確認できるようにになった。車両の位置情報を把握

し、指示を出すことで作業の省力化に取り組んできた。

報告会では、TIS北海道と日本オラクルの担当者が実証実験の効果を紹介。「GPS付き車両6台の1カ月の作業時間は前年と比べて254時間減り、作業費用も71万円減の320万円となった」と説明した。

また、GPS付き端末から作業時間や走行距離を算出することで、日報や月報の作成業務が効率化できるようになり、除排雪業者への支払時期が1週間程度早くなったことも報告した。

今後の課題としては、対応するGPS付き端末の機種拡大が挙げられた。また、将来的な活用方法として除排雪車両だけでなく「ごみ収集車や観光バスにも応用することで、ごみ収集作業の効率化や観光客の動向を探ることもできる」と利点を強調した。

市の除排雪費用は年々増加し、2020年度の費用は10年前の2・3倍となる1億5800万円に上る。報告会で北猛俊市長は「蓄積したデータを基にして、次の時代を見据えた取り組みにつなげたい」と話した。

2021年3月25日(木)朝刊 地方 旭川・上川 20ページ (記事は再編集しています)

- ①「ICT活用」すると、何を確認できるようになりますか。二つ書きましょう。
  - ・
  - ・
- ②「ICTを活用」すると作業時間、経費削減が期待される理由を考え、一つ書きましょう。
  - ・
- ③GPSの将来的な活用方法としてどのようなことが考えられますか。記事にのっている以外の活用方法を一つ考え、その理由も書きましょう。